

～ 目 次 ～

1、	ご挨拶・江波地区社会福祉協議会役員名簿	1 頁
2、	原爆被爆者「母子愛之像」献花式典	2 頁
3、	ふれあいいきいきサロン訪問 「江波本町サロン百歳体操」	3 頁
4、	ふれあいいきいきサロン訪問 「いきいき百歳体操東2」	4 頁
5、	江波地区子育て支援活動「江波っ子の集い」	5 頁
6、	江波げんき人(ひと)研修会	6～7 頁
7、	江波老連健康教室と交流会	8 頁
8、	多世代交流広場 えん	9 頁
9、	町民対抗グラウンドゴルフ大会	10 頁
10、	多世代交流イベント 「みんなでラジオ体操」	11 頁
11、	江波体協親善少年ソフトボール大会	12 頁
12、	受賞おめでとうございます	13 頁

～表紙の「江波の漕伝馬」～

- 伝馬船とは大型船と岸との間を往復して、荷物の積み降ろしなどをする小型の船のことです。江戸時代には江波港から広島城まで荷物を運ぶ仕事もしていました。
- 現在、この伝馬船は2つの行事で活躍中です。宮島の管弦祭と神事である江波の火祭り、それぞれ約300年と270年の歴史があります。この伝統を守り伝えているのが、江波漕伝馬保存会です。「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも認定されています。また、平成8年5月、広島市の重要無形文化財にも指定されています。
- この美しい江波の伝統行事を後世に伝えていきたいものです。

～ご 挨拶～

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

江波地区社会福祉協議会は、各町内で実施している高齢者の憩いや交流の場である「ふれあいいいきサロン」への支援をはじめ、子育て支援の「江波っ子の集い」への補助を行う等、高齢者活動や子育てに忙しいお母さん方への支援を行っています。更に、江波地域包括支援センターとの連携のもと、登録を希望する高齢者等を対象に見守り活動を行う「高齢者地域支え合い事業・ご近所ネット江波」の充実・強化に引き続き努めてまいります。

これらの事業を推進するための主な財源は、市等からの補助金に加え、共同募金や区社会福祉協議会の「賛助会員制度」の江波社協への還元金等です。

皆さん、私たちの手で江波に住んで良かったと言えるような「まち」にしようではありませんか。皆様の願いに向け努力をしてまいります。

～江波地区社会福祉協議会役員名簿～

令和3年9月10日 現在

役 職 名	氏 名	電話番号	所属団体・役職等
相 談 役	浅 尾 幸 正	2 9 4 - 2 6 6 6	体育協会顧問
相談役・常任理事	佐 藤 一 直	090 - 1687 - 0518	こども会育成協議会会長
会 長	恵 南 祈八郎	2 9 2 - 0 4 5 9	
副 会 長	丸 本 正 紀	2 3 3 - 0 5 2 8	老人クラブ連合会会長
〃	中 川 巧	2 9 3 - 6 1 2 9	民生委・児童委協議会会長
〃 (会計)	田 中 博 美	2 3 1 - 5 7 0 2	東一丁目町内会顧問
〃 (監査)	守 本 肇	2 9 2 - 1 8 3 7	南一丁目町内会会長
〃 (事務局)	河 村 明 治	2 3 2 - 0 8 7 7	二本松一・二丁目町内会会長
地域福祉推進委員	堂 本 澄 子	2 9 1 - 0 3 2 2	西一丁目町内会会長
常 任 理 事	田 村 淳 司	2 9 1 - 5 1 6 9	東一丁目町内会会長
〃	中 村 光 伸	2 9 2 - 9 3 8 4	東二丁目町内会会長
〃	沖 元 敏 文	2 9 1 - 5 7 6 9	本町町内会会長
〃	戸 林 徹	2 3 2 - 4 0 5 3	南二丁目町内会会長
〃	竹 内 磨	2 3 2 - 8 5 5 7	南三丁目町内会会長
〃	大 浦 史 郎	2 3 4 - 7 6 4 7	栄町町内会会長
〃	松 尾 徳 江	2 9 4 - 4 8 1 6	西二丁目町内会会長
〃	神 田 勝 己	2 9 2 - 6 4 0 3	公衆衛生推進協議会会長
〃	西 本 利 枝	2 9 3 - 5 2 4 7	体育協会会長
〃	櫻 井 俊 郎	070 - 5056 - 6558	青少年健全育成協会会長
〃 (監査)	佐 藤 千 尋	080 - 2895 - 5493	前保護司

～原爆被爆者「母子愛之像」献花式典～

江波町では原爆死没者の霊を慰め、恒久平和の実現を誓い祈念するため、各団体の有志ならびに町民の皆さんの参加を得て、令和3年8月7日（土）江波山・碑の丘「母子愛之像」の前で献花式を開催しました。

コロナ禍の中ではありますが、今年度の式典にも、校長先生のご理解とご協力により、折り鶴奉納、児童代表による平和へのメッセージを式次第に取り入れることができました。

式典を開催するに当たり、ご協力を頂いた江波連合町内会を始め多くの団体に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。



「今井 颯一君の平和メッセージ」

式次第

開会宣言：地域福祉推進委員

折鶴奉納：江波小学校児童、老人クラブ連合会、二本松町内会有志、
江波西一丁目親和クラブ、グループホームほのぼの苑、

黙 禱：参加者全員

挨 拶：江波地区社会福祉協議会会長

意見発表：江波小学校児童代表 「平和へのメッセージ」

献 花：参加者全員

閉式宣言：地域福祉推進委員



～ふれあいいいきいきサロン訪問～

『江波本町サロン百歳体操』

「江波本町サロン百歳体操」は、毎週月曜日、9時30分～11時まで江波本町いこいの家（南道路高架下）で活動しています。また、「江波本町サロン歌の会」も別途に開催していますが、現在、新型コロナの影響で休止をしていました。

8月2日（月）「江波本町いこいの家」を訪問しました。このサロンは、町内会副会長で民生委員の中川さんを中心に、結城、平岡、山本さんの4名でサロンの運営をしていました。素晴らしい組織で笑顔あふれる世話人の皆さんでした。

「いきいき百歳体操」と「かみかみ百歳体操」を行いましたが、百歳体操に熱心に取り組む皆さんの姿勢に、大いに元気づけられました。

参加者の皆さんがこのサロンを楽しみにしているのがよくわかりました。



これが「いこいの家」です



手指消毒と体温測定



ポイント手帳に押印



これが誕生日カード



このサロンでは、毎月の最終月曜日に誕生日会を開催し、誕生日カードとお菓子をプレゼントして、皆さんでお祝いをしています。高齢者のふれあいの場・健康づくりの場を開設した町内会、その活動に積極的に参加している世話人の皆さんに、心からの敬意を表します。そして、何よりサロンに参加している皆さんの笑顔が最高です。

～ふれあいいきいきサロン訪問～

『いきいき百歳体操・江波東2』

「いきいき百歳体操・江波東2」は毎週木曜日10時～11時、江波東2丁目の江波児童館で活動しています。ただし、第2木曜日は翌日の金曜日としています。

10月15日（金）児童館を訪問しました。緊急事態措置が終了し、待望のサロン再開の初日でした。マスク着用、検温、手指消毒、そして三密を避ける万全の対応でした。参加者の皆さんは笑顔で「久しぶりじゃねえ～元気にしとった?」「やっと再開できたね」と喜びの声でした。

このサロンは町内会長の中村さんご夫妻、三田村さんご夫妻、そして中川さんの5名で運営をしていました。素晴らしいチームワークを発揮する、素敵な世話人の皆さんでした。

高齢者のふれあい・健康づくりの場を設定した町内会と世話人の皆さんに敬意を表します。そして、サロンに参加している皆さんに最高のエールを送ります。



この東2丁目サロンの開設により、江波地区社協を構成する10の町内会すべてにおいて、ふれあいいきいきサロンが開設されました。感謝申し上げます。

～江波地区子育て支援活動～

『江波っ子の集い』

民生委員児童部と主任児童委員が平成14年6月「江波っ子の集い」を発足させ、以来、舟入公民館を始め児童館や江波保育園、江波第2保育園等のご理解を得て、この集いを開催しています。

このオープンスペース「江波っ子の集い」は、子どもと向き合い、忙しくしているお母さん方の憩いの場、おしゃべりの場の提供であり、友達作りの場、子育ての経験のある地域の方々とのふれあいの場でもあります。地域との関わりも大切なことです。

そして、なにより、子ども達を広い所で伸び伸びと遊ばせて、笑顔の絶えない集まりの場です。



体温測定、消毒、そして受付です



スタッフの紹介です



早速、おもちゃに夢中です

10月7日（木）江波集会所を訪問しました。当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態措置が解除されて、初めての江波っ子の集いでした。

集いに参加したお母さん達は、「やっと集いが開催されました。良かったです。」笑顔のあふれた姿がとても印象的でした。

お世話をしている方々は「子育て中の若いお母さん達を応援して行きたいと思っています」「申し込みは不要です。気軽に参加を待っています」とのことでした。

毎日忙しくしている子育て真ただ中のお母さん、気軽に出かけてみてはいかがですか。

毎月第1木曜日10時から江波集会所で開催しています。江波地区社協も応援しています。



わたし達も待っています

～江波げんき人（びと）研修会～

地域コミュニティの活力を更に充実・拡大させるため、江波地域包括支援センターとの共催により、標記研修会を7月10日（土）、11日（日）の二日間にわたり悠悠タウン江波二本松4階会議室で開催しました。

受講対象者は下記の①～④の方を中心に募集し、市・区役所、市・区社協、の皆さんにもご協力を頂きとても有意義な研修会となりました。

- ① 高齢者地域支え合い事業「ご近所ネット江」のお世話や声かけさん
- ② 高齢者いきいきサロン、地域介護予防拠点（いきいき百歳体操）等の世話役
- ③ 住民主体型生活支援訪問サービス「フレンズ」ボランティア
- ④ その他、地域のための活動に興味、関心がある方等 です。



講師；大阪市立大学大学院 生活科学研究科 野村 恭代准教授

第1日目 「防災・減災につながるコミュニティの力 ～自助と共助～」

- 1, 自助・共助・公助 それぞれの役割。
- 2, 「つながり」による支え合いと防災。 地域の中で共に支え合う取り組みが大切である等の講義受け、グループワークを中心に熱心な討議が進められた。



第2日目 誰もが暮らしやすい地域を目指して ～地域共生社会について～

- 3, 地域における生活課題
- 4, 地域共生社会の構築に向けた近年の福祉をめぐる動向
- 5, 「つながり」への注目
- 6, つながりをつくるための「しくみ」

「つながり」への注目が、大震災、大災害の後、自助・共助・公助の大切さが叫ばれるなか、防災とセットになって、平時からの地域での「つながり」の重要性が増してきた。

各地でのしくみづくりの事例や野村先生が研究・実践してきた事例を基に、「個を地域で支える」そして「個を支える地域をつくる」ことの視点を学んだ講義でした。



今回の研修会の開催にあたって、主催者側としては、新型コロナウイルス感染予防対策のため、飛沫防止シールドを設置するとともに、室内換気、三密を避ける席づくりを行いました。受付では手指消毒、参加者の皆様にはマスク着用をお願いしました。

第1日目の参加者は55名、第2日目は63名、合計118名という多くの方に参加して頂きました。心から感謝申し上げます。

～江波老連健康教室と交流会～

江波老人クラブ連合会が例年開催している「健康教室と交流会」が3月10日（水）午後1時半から、二本松集会所で開催されました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、マスク着用・室内換気・体温測定・手指消毒としっかりとした対応を行い、密を避けるため、二本松、東一丁目、西一丁目の老人クラブから参加者は、合計24名に制限して開催されました。

「支え合いで健康寿命を延ばそう」をテーマに、江波地域包括支援センターと悠々タウン江波の職員の皆様から講話や健康体操など盛りだくさんの内容に、参加した皆さんは納得。

「元気が一番。支える側の高齢者に」「地域の支え合い活動を拡げるために、ご近所ネット江波」の活用を、という講師の話にうなずいていました。



丸本会長 挨拶



坂本包括支援センター長 挨拶



要注意！ コロナの影響で運動不足になりがちです。

～多世代交流広場 えん～

令和2年11月に、江波社協事務所「和楽工房」の隣に、子ども達からお年寄りまで、誰でも集える通いの場として、江波商店街振興組合の協力のもと、地域の皆さんと江波地域包括支援センターが一緒になって運営をしています。

「えん」では、手芸品の制作や販売などを通じて多世代の住民が集い交流しています。

また、高齢者が子育ての悩みを持つお母さんの話を聞いたり、障害があり就職が長続きしない方が、まずはお手伝いをする事で人と接することに慣れたり、手芸の得意な高齢者が娘さんと一緒に参加し、他の人に教えたり、教えてもらったりするなど、人と人がつながりを持ち、励まし合ったりするような交流の場となっています。



カープクラブ、きつね倶楽部の商品も販売しています。



テレビ「元就」アンガールズ田中氏の取材を受けました。びっくりです。



毎週：火曜日（10時～15時）。 木曜日（10時～17時）。 土曜日（イベント開催時）にオープンしています。

～町民対抗グラウンドゴルフ大会～

連合町内会や江波町内の郵便局等多くの団体が支援し、江波学区体育協会が主管して開催している恒例のグラウンドゴルフ大会が、晴天に恵まれ10月17日（日）江波小学校のグラウンドで盛大に開催されました。

各町内から選出された参加者94名と、お世話をして頂いた江波体協役員を含め、総勢110名余の規模で、熱戦が繰り広げられました。

～おめでとうございます～

団体の部

優勝：南二丁目
準優勝：東一丁目
三位：二本松
四位：西一丁目

個人の部

女性の部 優勝：城戸 千恵子（南二）
準優勝：山口 順子（南二）
男性の部 優勝：大橋 武志（二本松）
準優勝：柳 成久（南一）



「新型コロナ感染拡大防止集中対策」終了後の、町内最初のスポーツイベント



団体優勝は
南2丁目、4連覇です



～多世代交流支援イベント～

『みんなでラジオ体操』

江波学区子ども会と多世代交流広場「えん」は、マツダ財団の補助を受けて、夏休みのイベント「みんなでラジオ体操」を午前7時から江波小学校のグラウンドで行いました。

一日平均の参加児童数は約90名、大人は20名程度ですが、8月5日（木）は、児童105名、大人17名、合計122名という参加状況でした。

ラジオの声に合わせてみんなで一緒にラジオ体操を行い、終了後は児童にお菓子を、大人はお茶のプレゼントがあり、子ども達は大喜びでした。

1週間のうち、どれか一日をお菓子のプレゼントデーとしており、8月5日（木）がその日だったようでした。納得です！！

子どもの笑顔が素敵な早朝でした。



出席カードに印を押します



参加者にお菓子のプレゼント

～江波体協親善少年ソフトボール大会～

2月28日（日）第34回江波体協親善少年ソフトボール大会が、少年ソフトボールクラブ若竹会の主管により、35チームの参加のもと盛大に開催されました。

各チームは8ブロックに分かれての予選リーグで、どのチームも最低2試合を行うことができます。

若竹会新チームはキャプテンを中心にまとまりも良く、走攻守のバランスの取れたチームです。本日の大会もすばらしいチームワークで優勝を飾りました。

江波地区の多くの企業、商店、医院等のご支援、並びに大会運営者を始め関係者の皆さんに心から敬意を表します。



キャプテン森田健矢君の選手宣誓



走れ、走れ、走れ～



君たちならできる！

8月7日～10日に滋賀県守山市で開催された全日本小学生男子ソフトボール大会で、広島県代表として出場した若竹会は準優勝という素晴らしい成績をおさめました。

～受賞おめでとうございます～

広島県社会福祉協議会会長表彰 丸本 正紀 (西一丁目)
広島市社会福祉協議会会長表彰 中川 巧 (本 町)

～「第30回 南の風EBAあそび」の中止について～

江波の地に根付いて、年明けの広島の顔となった「南の風EBAあそび」が、節目の30回目を迎えました。

本年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、このイベントの実施の可否について協議を重ねてきましたが、残念ながら第29回に引き続いて中止といたしました。

新型コロナウイルス感染症も、ワクチン接種率の向上や日常のマスク着用、3密を避ける行動等の感染予防対策の徹底により大きく減少してきました。

しかしながら、毎年数多くの方々が参加するこの「南の風EBAあそび」については、参加者の把握が困難であるとともに、3密が避けられない状況になると判断をいたしました。また、事務局会議や実行委員会の開催も大きな影響を受け、会議を重ねることが困難な状況でした。

このイベントを楽しみにしていた多くの市民の皆さんにはぜひご理解を頂き、第31回「南の風EBAあそび」を楽しみにしていただきたいと思います

思い出の「第20回記念 南の風EBAあそび」

